

令和 5 年 5 月 23 日現在

機関番号：23804

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2015～2022

課題番号：15K02054

研究課題名(和文) 16-17世紀に書写された古代イラン文献の写本研究

研究課題名(英文) Manuscript Study of Ancient Iranian Documents Written in the 16th and 17th Centuries

研究代表者

青木 健 (AOKI, Takeshi)

静岡文化芸術大学・文化・芸術研究センター・教授

研究者番号：50745362

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：中世イラン・インドの思想史は、まだまだ未解明の部分が多い。本研究では、この分野にヒンドゥー教でもイスラームでもなく、ゾロアスター教と云う補助線を引くことで、サファヴィー朝とムガル帝国の思想的交流とその成果の解明を意図した。具体的には、アーザル・カイヴァーン学派と云う思想家集団を主題とし、彼らの知的営為の起源、内容、影響を、ペルシア語写本から復元した。その結果、インドのバトナーにおける伝・アーザル・カイヴァーン廟を探り当てると共に、彼らのペルシア語語彙がデリー・サルタナット朝時代のインド・ペルシア語辞書に由来することを突き止めた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

中世イラン・インドの思想的交流は、従来はヒンドゥー教のヨーガとイスラームのスーフィズムの類似性に依拠して考察されることが多かった。しかし、ここにゾロアスター教や古代イラン文化といった補助線を引くことで、中世インド文化の強い古代イラン志向、古代イラン語語彙やゾロアスター教に対する憧憬を解明することが出来た。中世イラン・インド思想研究にとって新たな視点を提供すると共に、ゾロアスター教研究にとっても未解明の時代の全体像を描く手掛かりが得られたのではないかと考えている。

研究成果の概要(英文)：There are still many unexplained parts of the history of thought in medieval Iran and India. In this research, I intended to elucidate the ideological exchanges between the Safavid dynasty and the Mughal empire and their achievements by drawing the auxiliary line of Zoroastrianism, not Hinduism or Islam, in this field. Specifically, I focused on a group of thinkers called the Azar Kayvan school, and restored the origin, content, and influence of their intellectual activities from New Persian manuscripts. As a result, I found the Azar Kayvan's mausoleum in Patna, India, and found out that their Persian vocabulary was derived from the Indo-Persian dictionary of the Delhi-Sultanat Dynasty.

研究分野：人文学

キーワード：ゾロアスター教 イスラーム 中世インド パールスィー

1. 研究開始当初の背景

研究開始当初、中世イラン・インドの思想的交流を研究する視点は、ヒンドゥー教のヨーガとイスラームのスーフィズムの実践面での類似性が主だった。これは、ムガル帝国第5代皇帝シャージャハーンの子孫の皇太子ダーラー・シコーがペルシア語著書『2つの大洋の合流』などで強調していた論点であり、ムガル帝国初期の帝国支配層のイデオログの発現に注目する限り、この結論が得られるのは必然だった。そして、この時期のペルシア語著作は彼らによるものが多かった為、いわば研究方法が結論を先取りしている面があった。

2. 研究の目的

本研究は、中世イラン・インド思想史を検討するに当たり、敢えてヒンドゥー教のヨーガやイスラームのスーフィズム以外の側面に注目し、この研究分野に新しい視点を導入することを目指した。その結果として得られる研究成果は、中世イラン・インド思想史全体を俯瞰する上で、意義のあるものでなくてはならない。そして、インドの写本図書館には、イラン本国を凌ぐ量のペルシア語写本が所蔵されているので、これは十分に達成可能な目的だと考えた。

3. 研究の方法

上記の新しい視点としては、ヒンドゥー教でもイスラームでもなく、ゾロアスター教に着目した。16世紀～17世紀当時は、ゾロアスター教徒の動きが活発化しており、相応の量のペルシア語文献を残している。特に注目したのは、アーザル・カイヴァーン学派と云う思想家集団である。彼らは、サファヴィー朝下にあつてはイスファハーン学派の哲学者たちと交流し、ムガル帝国に移住後はアブー・アル・ファズルらと文通したとされる思想家たちである。彼らの残したペルシア語文献を写本レベルでチェックすることで、先ずは彼ら自身の思想内容を明らかにすることを目指した。

4. 研究成果

研究素材が常に研究目的に応えてくれるとは限らない。必ず一定の誤差が生じるものである。今回の研究では、アーザル・カイヴァーン学派の思想文献を解読するうちに、彼らが使用する古代イラン語の語彙に焦点が移り、それがイラン本国ではなくデリー・サルタナット朝時代のインドで生成されたことが解明された(図1参照)。また、アーザル・カイヴァーンの墓廟がインド・ビハール州のパートナーにあることも確認された(図2参照)。これらの成果が中世イラン・インド思想史全体にとってどのような意味を持つかはまだ分からないが、ゾロアスター教と云う視点を採ることで、新たな角度からの中世イラン・インド思想史研究が可能になることは立証されたと考えている。

図1: デリー・サルタナット期にインドで生成された古代イラン語語彙

Examples of artificial ancient Iranian vocabulary in MF/DA

	ZG	SN	KL
Ābādiyān	×	×	×
ūchīzyān	×	×	×
ahame	×	×	×
pūdāt	×	×	×
chamrās	×	×	×
farmand	×	×	
hamād	×	×	×

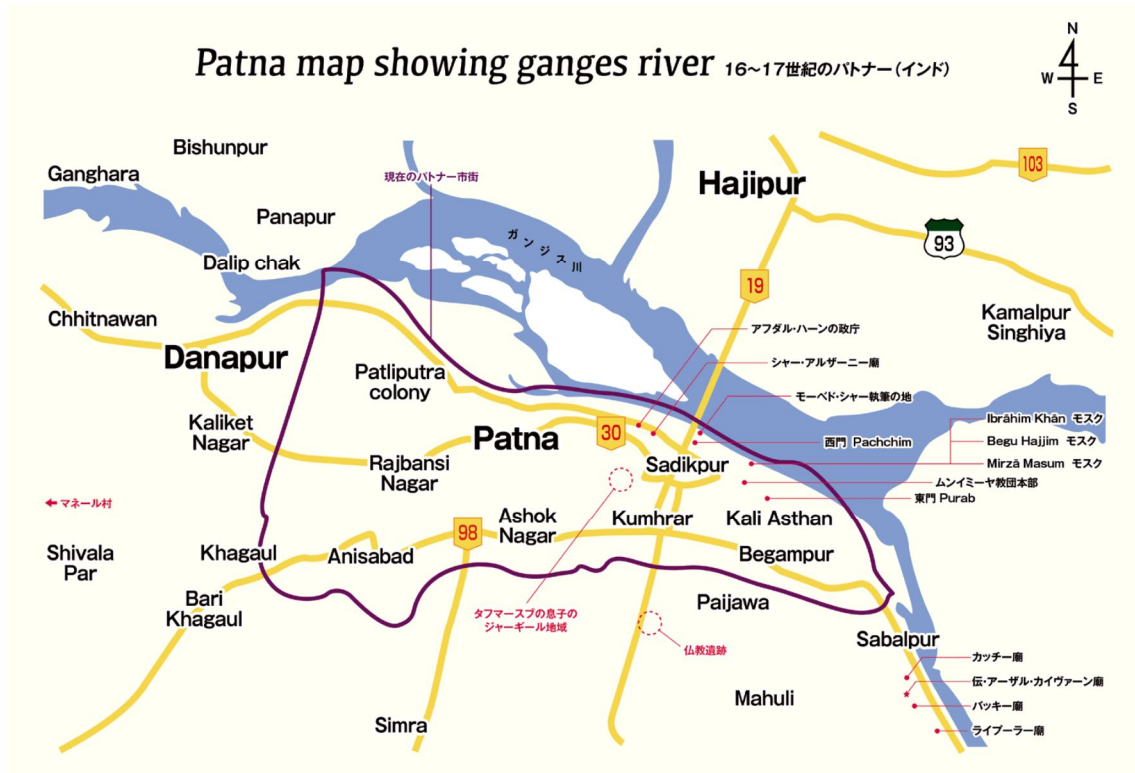
Examples of artificial ancient Iranian vocabulary in MF/BQ

	ZG	SN	KL
tanbod	×		×
tahmūras	×	×	×
farīvar		×	
pāsād	×	×	×

Examples of artificial ancient Iranian vocabulary in BQ

	ZG	SN	KL
pūlāb	×	×	×
farbūd	×	×	×
fartāsh	×	×	×
farjād	×	×	×
farūzān-far	×	×	×
jahn	×	in p. 334	in vol. 1, p. 306
jayvād	×	×	×

図2：インド・ビハール州パトナーのアーザル・カイヴァーン廟



5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計22件（うち査読付論文 14件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 8件）

1. 著者名 Takeshi AOKI	4. 巻 13.5
2. 論文標題 The Dasatir and the Azar Kaivan school in Historical Context	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Entangled Religions	6. 最初と最後の頁 1-22
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 53
2. 論文標題 アーザル・カイヴァーン学派研究(7)Dastan-e Mobedan Mobed Dadar Daddukhtの写本蒐集と翻訳校訂	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 慶應義塾大学言語文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 22
2. 論文標題 ペルシア湾岸の石窟遺跡とイラン仏教の可能性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 静岡文化芸術大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 69-76
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 20
2. 論文標題 飛鳥・奈良と汎ユーラシアのイラン文化16：国際シンポジウム「ベルセポリスから敦煌へ」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 奈良県立大学 ユーロナラジア	6. 最初と最後の頁 58-63
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 28
2. 論文標題 パートナーに於けるアーザル・カイヴァーンの神秘思想：『ジャーメ・カイホスロー』のエクスピリカシオン・ド・テキスト	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 説話・伝承学	6. 最初と最後の頁 1-67
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 51
2. 論文標題 アーザル・カイヴァーン学派研究(6)Dastan-e Mobedan Mobed Dadar Daddukhtの写本蒐集と翻訳校訂	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 慶應義塾大学言語文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 19
2. 論文標題 パートナーに於ける伝・アーザル・カイヴァーン廟—伝説と実像—	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 静岡文化芸術大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 97-105
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 単刊
2. 論文標題 ゾロアスター教概念の東方解体	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 檀原考古学研究所中央アジア調査報告書	6. 最初と最後の頁 45-51
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 第19巻
2. 論文標題 パトナーに於ける伝・アーザル・カイヴァーン廟－伝説と実像－	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 静岡文化芸術大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 97-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takeshi AOKI	4. 巻 印刷中
2. 論文標題 The Azar Kayvan School in Historical Context from Safavid Iran to Mughal India: Zoroastrianism, Nuqtavism, and the Illuminative Philosophy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Ruhr-University Bochum Workshop Preceedings 2018	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 56
2. 論文標題 イスラーム以前のイランと中央アジアを結ぶもの：時間論を巡るゾロアスター教とヘルメス主義と仏教	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 立正大学 ユーラシア研究	6. 最初と最後の頁 25-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 49
2. 論文標題 アーザル・カイヴァーン学派研究5	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 慶應義塾大学言語文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 1-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 8
2. 論文標題 飛鳥・奈良と汎ユーラシアのイラン文化8：ホラズム探訪 - ザラスシュトラ・スピターマの故地を巡って (前篇)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 奈良県立大学 ユーロナラジア	6. 最初と最後の頁 44-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 9
2. 論文標題 飛鳥・奈良と汎ユーラシアのイラン文化9：ホラズム探訪 - 古代ホラズムの占星術・天文学とゾロアスター 教 - (後篇)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 奈良県立大学 ユーロナラジア	6. 最初と最後の頁 48-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 48
2. 論文標題 アーザル・カイヴァーン学派研究4	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 慶應義塾大学言語文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 9-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 5
2. 論文標題 飛鳥・奈良と汎ユーラシアのイラン文化5	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 奈良県立大学ユーラシア研究センター紀要	6. 最初と最後の頁 54-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 6
2. 論文標題 飛鳥・奈良と汎ユーラシアのイラン文化6	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 奈良県立大学ユーラシア研究センター紀要	6. 最初と最後の頁 59-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 7
2. 論文標題 飛鳥・奈良と汎ユーラシアのイラン文化7	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 奈良県立大学ユーラシア研究センター紀要	6. 最初と最後の頁 50-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 168
2. 論文標題 アーザル・カイヴァーン学派研究2	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 東洋文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 147-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 青木健	4. 巻 169
2. 論文標題 アーザル・カイヴァーン学派研究	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 東洋文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 184-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeshi Aoki	4. 巻 1
2. 論文標題 Zoroastrianism in the Far East	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Zoroastrianism, edited by Michael Stausberg and Yuhan Sohrab Dinshaw Vevaina with the assistance of Anna Tessmann	6. 最初と最後の頁 147-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takeshi Aoki	4. 巻 1
2. 論文標題 A Study of Zurvanite Zoroastrianism: an Edition of 'Ulama-ye Islam of Another Version (UI-2) and its Long Quotation in a Book of Azar Kayvan School	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 三夷教研究; 林悟殊教授古稀記念文集 (Researches on the Three Foreign Religions; Papers in Honour for Prof. Lin Wushu on His 70th Birthday)	6. 最初と最後の頁 405-425
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計15件 (うち招待講演 9件 / うち国際学会 5件)

1. 発表者名 青木健
2. 発表標題 アーザル・カイヴァーン学派の起源
3. 学会等名 第63回日本オリエント学会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 青木健
2. 発表標題 ペルシア思想史を構想する
3. 学会等名 第9回京都フォーラム「世界哲学を構想する」(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 青木健
2. 発表標題 エーラーン帝国の宗教：マズダー教、ズルヴァーン主義、ゾロアスター教
3. 学会等名 日本オリエント学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 青木健
2. 発表標題 拝火教在中央亜細亞：伊朗和日本之間
3. 学会等名 从波斯波利斯到敦煌（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 青木健
2. 発表標題 中央アジアにおけるゾロアスター教と大乘仏教
3. 学会等名 奈良県立大学国際ゾロアスター教フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takeshi AOKI
2. 発表標題 The Azar Kayvan School in Historical Context: Zoroastrianism, Sufism and Mughal India
3. 学会等名 “Safavid and Mughal Empires in Contact: Intellectual and Religious Exchanges between Iran and India in the Early Modern Era” Workshop (7th-8th, June, 2018 @Ruhr-Universität Bochum, Germany)（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 青木健
2. 発表標題 神々のシルクロード - ゾロアスター教、マニ教、キリスト教、イスラーム -
3. 学会等名 日中平和友好条約締結40周年記念国際シンポジウム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 青木健
2. 発表標題 言語と宗教から見た文明の鳥瞰
3. 学会等名 比較文明学会第36回大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 青木健
2. 発表標題 シルクロードの諸宗教
3. 学会等名 シルクロード国際学術研究集会（名古屋大学・研究大学強化促進事業）（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 青木健
2. 発表標題 ザラスシュトラの故郷 - パミール
3. 学会等名 パミール中央アジア研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 青木健
2. 発表標題 アーザル・カイヴァーンの神秘主義の原点 - 『ジャーム・カイホスロー』 -
3. 学会等名 日本宗教学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 青木健
2. 発表標題 ゾロアスター教と禅 / 法隆寺の香木 / 敦煌の壁画
3. 学会等名 第2回国際ゾロアスター教フォーラム「ゾロアスター教と奈良の文化」
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 青木健
2. 発表標題 中国マニ教概論試論
3. 学会等名 比較神話学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 青木健
2. 発表標題 パートナーに於けるアーザル・カイヴァーン
3. 学会等名 日本オリエント学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 青木健
2. 発表標題 Manichaeian Studies in China and Japan
3. 学会等名 霞浦摩尼教研討会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計10件

1. 著者名 青木 健	4. 発行年 2020年
2. 出版社 講談社	5. 総ページ数 376
3. 書名 ペルシア帝国	

1. 著者名 鈴木 董、近藤 二郎、赤堀 雅幸	4. 発行年 2020年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 826
3. 書名 中東・オリエント文化事典	

1. 著者名 バーナード・ルイス、加藤 和秀	4. 発行年 2021年
2. 出版社 講談社	5. 総ページ数 280
3. 書名 暗殺教団 「アサシン」の伝説と実像	

1. 著者名 青木健（共著）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 284
3. 書名 世界哲学史2	

1. 著者名 青木健（共著）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 奈良県立大学ユーラシア研究センター	5. 総ページ数 104
3. 書名 ゾロアストリアニズムと奈良・飛鳥文化を探る。【 】	

1. 著者名 青木健（単著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 刀水書房	5. 総ページ数 291
3. 書名 新ゾロアスター教史：古代中央アジアのアーリア人・中世ペルシアの神聖帝国・現代インドの神官財閥	

1. 著者名 青木健（共著）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 奈良県立大学ユーラシア研究センター	5. 総ページ数 120
3. 書名 ゾロアストリアニズムと奈良・飛鳥文化を探る。【 】	

1. 著者名 青木健（他）	4. 発行年 2019年
2. 出版社 奈良県立大学ユーラシア研究センター	5. 総ページ数 95
3. 書名 ゾロアストリアニズムと奈良・飛鳥文化を探る。【 】	

1. 著者名 青木健	4. 発行年 2019年
2. 出版社 刀水書房	5. 総ページ数 364
3. 書名 新ゾロアスター教史	

1. 著者名 柴田大輔・他	4. 発行年 2018年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 372
3. 書名 イスラームは特殊か：西アジアの宗教と政治の系譜	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------